

重症心身障害児者等の相談支援専門員およびコーディネーターの 人材育成プログラムの評価チェックリストの作成

研究分担者	松葉佐 正	熊本大学医学部附属病院重症心身障がい学寄附講座 特任教授
	宮野前 健	国立病院機構南京都病院 院長
	田村和宏	立命館大学産業社会学部 准教授
研究協力者	落合三枝子	島田療育センター 療育部長
	名里 晴美	社会福祉法人訪問の家 理事長

研究要旨

重症児者等の支援者とコーディネーターの研修プログラムの評価チェックリストを作成した。チェックリストは1．生命維持、2．発達と日常生活の質の保障、3．コミュニケーション、4．生活の見通し、5．家族のQOLの維持向上、6．地域の医療福祉資源の把握と有効活用のための人的ネットワークの構築、7．虐待への対応の7項目とした。それぞれの項目ごとにキーワードを挙げ、キーワードの項目達成度を測る、1～4の4段階のスライディングスケールを作成した。研修修了者の自己評価に有用と思われる。

A．研究目的

現行の相談支援専門員の多くは医療にあまり通じておらず、在宅の重症心身障害児者を十分に支援できていないという声が現場から聞かれる。この度の研究は、重症児者等の支援者とコーディネーターの研修プログラムを評価することを目的とした。

医療的ケアの必要性がスムーズに理解され、また、本人中心の支援という姿勢が身につくことが期待される。

次のページから、重症児者等コーディネーター研修評価アセスメント表を掲載する。

B．研究方法

研究分担者を中心に評価チェックリスト案を作成し、研究協力者とともにリストの妥当性を検討した。その後、各項目のキーワードについて、4段階の達成度（スライディングスケール）案を研究分担者が分担して作成し、全員で検討した。

C．研究結果

チェックリストには、医療の基本的なことから次第に高度な（重症児者にとって重要な）ことに移行するようにして作成した。

コミュニケーションと虐待については、独立の項目とした。生活支援については、ライフステージなど、ストーリーを持たせることに努めた。こうすることによって、

重症心身障害児者等コーディネーター育成研修評価アセスメント表
自己評価を4段階で行ってください。自分の弱い項目については、今後継続的に研鑽していくとともに、地域でその項目に強い人につなぐことも大切です。

キーワード	1	2	3	4
生命維持 (安全・安心の保障)	理解している	具体的な事例が頭に浮かぶ	家族を含めて他人に説明できる	自分の立場で適切に対処できる
重篤な原因で中枢神経系が障害され、その結果重度な知的発達障害と身体機能障害を併せ持っている事を理解していますか	理解している	具体的な事例が頭に浮かぶ	家族を含めて他人に説明できる	自分の立場で適切に対処できる
障害を来たす原疾患は多様で、発生時期も先天性、周産期、それ以降にわたっている事を理解していますか	理解している	具体的な事例が頭に浮かぶ	家族を含めて他人に説明できる	自分の立場で適切に対処できる
健康児に比べ、重症心身障害児は生理的な予備能力が少なく、合併症を多く持ち、体調が急変しやすい命にかかわる事もあることを理解していますか	理解している	具体的な事例が頭に浮かぶ	家族を含めて他人に説明できる	自分の立場で適切に対処できる
いったん体調を崩すと、悪循環に陥り易く、重篤化しやすい事を理解していますか	理解している	具体的な事例が頭に浮かぶ	家族を含めて他人に説明できる	自分の立場で適切に対処できる
看取りに関して、ご家族や関係者・支援者の意志疎通・情報の共有の重要性は理解していますか	理解している	具体的な事例が頭に浮かぶ	家族を含めて他人に説明できる	自分の立場で適切に対処できる
呼吸障害が予後の大きな要因になっている事を理解していますか	理解している	具体的な事例が頭に浮かぶ	家族を含めて他人に説明できる	自分の立場で適切に対処できる
酸素投与が必要な理由を理解しているか	理解している	具体的な事例が頭に浮かぶ	家族を含めて他人に説明できる	自分の立場で適切に対処できる
パルスオキシメータによるSpO ₂ (酸素飽和度) 測定の必要性は理解できていますか	理解している	具体的な事例が頭に浮かぶ	家族を含めて他人に説明できる	自分の立場で適切に対処できる
どのような時、口腔内や咽頭部などの吸引が必要になるか理解している	理解している	具体的な事例が頭に浮かぶ	家族を含めて他人に説明できる	自分の立場で適切に対処できる
気管切開による気道確保で、肉芽や出血の合併症があることを知っているか	理解している	具体的な事例が頭に浮かぶ	家族を含めて他人に説明できる	自分の立場で適切に対処できる
人工呼吸器使用では、停電や故障時など緊急時の体制作りが必要な事を理解していますか	理解している	具体的な事例が頭に浮かぶ	家族を含めて他人に説明できる	自分の立場で適切に対処できる
寝たきりで自力で体位変換できない重症児の褥瘡予防や安楽な状態を維持するために、体位変換が必要なことを理解していますか	理解している	具体的な事例が頭に浮かぶ	家族を含めて他人に説明できる	自分の立場で適切に対処できる
四肢拘縮変形が強いと、骨折のリスクが高くなることを理解していますか	理解している	具体的な事例が頭に浮かぶ	家族を含めて他人に説明できる	自分の立場で適切に対処できる
腸閉塞(イレウス) は生命にかかわる病態であることを理解していますか	理解している	具体的な事例が頭に浮かぶ	家族を含めて他人に説明できる	自分の立場で適切に対処できる
重症児は便秘傾向が強く、緩下剤や浣腸が必要な事が多いことを理解していますか	理解している	具体的な事例が頭に浮かぶ	家族を含めて他人に説明できる	自分の立場で適切に対処できる
体温測定は健康管理の基本であることを理解していますか	理解している	具体的な事例が頭に浮かぶ	家族を含めて他人に説明できる	自分の立場で適切に対処できる
発熱の原因は感染に併うことばかりではなく、緊張やうつ熱による体温上昇もあることを理解していますか	理解している	具体的な事例が頭に浮かぶ	家族を含めて他人に説明できる	自分の立場で適切に対処できる
勸誘されている予防接種の種類を理解していますか	理解している	具体的な事例が頭に浮かぶ	家族を含めて他人に説明できる	自分の立場で適切に対処できる
重症児はてんかんの合併症が高い事を知っていますか	理解している	具体的な事例が頭に浮かぶ	家族を含めて他人に説明できる	自分の立場で適切に対処できる
てんかん発作のコントロールには定期的な抗てんかん薬の服用が大切であることを理解していますか	理解している	具体的な事例が頭に浮かぶ	家族を含めて他人に説明できる	自分の立場で適切に対処できる
摂食嚥下障害の為に経口摂取に代わり、経管栄養を選択する場面がある事を理解していますか	理解している	具体的な事例が頭に浮かぶ	家族を含めて他人に説明できる	自分の立場で適切に対処できる
体重の増減が健康や栄養のパロメーターであることを理解していますか	理解している	具体的な事例が頭に浮かぶ	家族を含めて他人に説明できる	自分の立場で適切に対処できる
定期的な体重・身長測定が栄養状態や健康管理上必要であることを理解していますか	理解している	具体的な事例が頭に浮かぶ	家族を含めて他人に説明できる	自分の立場で適切に対処できる
健康管理の「め地域の」かかりつけ医」の必要性を理解していますか	理解している	具体的な事例が頭に浮かぶ	家族を含めて他人に説明できる	自分の立場で適切に対処できる
在宅医療や訪問看護などが地域生活を支える重要な柱であることを理解していますか	理解している	具体的な事例が頭に浮かぶ	家族を含めて他人に説明できる	自分の立場で適切に対処できる
在宅療養生活において、短期入院は必要不可欠な支援であることを理解していますか	理解している	具体的な事例が頭に浮かぶ	家族を含めて他人に説明できる	自分の立場で適切に対処できる
周産期障害などで新生児がNICU (新生児集中治療室) で治療を受ける体制について理解していますか	理解している	具体的な事例が頭に浮かぶ	家族を含めて他人に説明できる	自分の立場で適切に対処できる
在胎週数や出生体重、新生児仮死など出生児の情報は、障害を理解する上で重要な事を理解していますか	理解している	具体的な事例が頭に浮かぶ	家族を含めて他人に説明できる	自分の立場で適切に対処できる
支援を行っていく上で現病歴や合併症の理解は、健康管理の必須項目であることを理解していますか	理解している	具体的な事例が頭に浮かぶ	家族を含めて他人に説明できる	自分の立場で適切に対処できる
医用的ケア実施には決められた研修を受ける事を知っていますか	理解している	具体的な事例が頭に浮かぶ	家族を含めて他人に説明できる	自分の立場で適切に対処できる
重篤な原因で中枢神経系が障害され、その結果重度な知的発達障害と身体機能障害を併せ持っている事を理解していますか	理解している	具体的な事例が頭に浮かぶ	家族を含めて他人に説明できる	自分の立場で適切に対処できる
障害を来たす原疾患は多様で、発生時期も先天性、周産期、それ以降にわたっている事を理解していますか	理解している	具体的な事例が頭に浮かぶ	家族を含めて他人に説明できる	自分の立場で適切に対処できる
健康児に比べ、重症心身障害児は生理的な予備能力が少なく、合併症を多く持ち、体調が急変しやすい命にかかわる事もあることを理解していますか	理解している	具体的な事例が頭に浮かぶ	家族を含めて他人に説明できる	自分の立場で適切に対処できる
いったん体調を崩すと、悪循環に陥り易く、重篤化しやすい事を理解していますか	理解している	具体的な事例が頭に浮かぶ	家族を含めて他人に説明できる	自分の立場で適切に対処できる
看取りに関して、ご家族や関係者・支援者の意志疎通・情報の共有の重要性は理解していますか	理解している	具体的な事例が頭に浮かぶ	家族を含めて他人に説明できる	自分の立場で適切に対処できる
呼吸障害が予後の大きな要因になっている事を理解していますか	理解している	具体的な事例が頭に浮かぶ	家族を含めて他人に説明できる	自分の立場で適切に対処できる
酸素投与が必要な理由を理解しているか	理解している	具体的な事例が頭に浮かぶ	家族を含めて他人に説明できる	自分の立場で適切に対処できる
パルスオキシメータによるSpO ₂ (酸素飽和度) 測定は理解できていますか	理解している	具体的な事例が頭に浮かぶ	家族を含めて他人に説明できる	自分の立場で適切に対処できる
どのような時、口腔内や咽頭部などの吸引が必要になるか理解している	理解している	具体的な事例が頭に浮かぶ	家族を含めて他人に説明できる	自分の立場で適切に対処できる
気管切開による気道確保で、肉芽や出血の合併症があることを知っているか	理解している	具体的な事例が頭に浮かぶ	家族を含めて他人に説明できる	自分の立場で適切に対処できる
人工呼吸器使用では、停電や故障時など緊急時の体制作りが必要な事を理解していますか	理解している	具体的な事例が頭に浮かぶ	家族を含めて他人に説明できる	自分の立場で適切に対処できる
寝たきりで自力で体位変換できない重症児の褥瘡予防や安楽な状態を維持するために、体位変換が必要なことを理解していますか	理解している	具体的な事例が頭に浮かぶ	家族を含めて他人に説明できる	自分の立場で適切に対処できる
四肢拘縮変形が強いと、骨折のリスクが高くなることを理解していますか	理解している	具体的な事例が頭に浮かぶ	家族を含めて他人に説明できる	自分の立場で適切に対処できる
腸閉塞(イレウス) は生命にかかわる病態であることを理解していますか	理解している	具体的な事例が頭に浮かぶ	家族を含めて他人に説明できる	自分の立場で適切に対処できる
重症児は便秘傾向が強く、緩下剤や浣腸が必要な事が多いことを理解していますか	理解している	具体的な事例が頭に浮かぶ	家族を含めて他人に説明できる	自分の立場で適切に対処できる
体温測定は健康管理の基本であることを理解していますか	理解している	具体的な事例が頭に浮かぶ	家族を含めて他人に説明できる	自分の立場で適切に対処できる
発熱の原因は感染に併うことばかりではなく、緊張やうつ熱による体温上昇もあることを理解していますか	理解している	具体的な事例が頭に浮かぶ	家族を含めて他人に説明できる	自分の立場で適切に対処できる
勸誘されている予防接種の種類を理解していますか	理解している	具体的な事例が頭に浮かぶ	家族を含めて他人に説明できる	自分の立場で適切に対処できる
重症児はてんかんの合併症が高い事を知っていますか	理解している	具体的な事例が頭に浮かぶ	家族を含めて他人に説明できる	自分の立場で適切に対処できる
てんかん発作のコントロールには定期的な抗てんかん薬の服用が大切であることを理解していますか	理解している	具体的な事例が頭に浮かぶ	家族を含めて他人に説明できる	自分の立場で適切に対処できる
摂食嚥下障害の為に経口摂取に代わり、経管栄養を選択する場面がある事を理解していますか	理解している	具体的な事例が頭に浮かぶ	家族を含めて他人に説明できる	自分の立場で適切に対処できる
体重の増減が健康や栄養のパロメーターであることを理解していますか	理解している	具体的な事例が頭に浮かぶ	家族を含めて他人に説明できる	自分の立場で適切に対処できる
定期的な体重・身長測定が栄養状態や健康管理上必要であることを理解していますか	理解している	具体的な事例が頭に浮かぶ	家族を含めて他人に説明できる	自分の立場で適切に対処できる
健康管理の「め地域の」かかりつけ医」の必要性を理解していますか	理解している	具体的な事例が頭に浮かぶ	家族を含めて他人に説明できる	自分の立場で適切に対処できる
在宅医療や訪問看護などが地域生活を支える重要な柱であることを理解していますか	理解している	具体的な事例が頭に浮かぶ	家族を含めて他人に説明できる	自分の立場で適切に対処できる
在宅療養生活において、短期入院は必要不可欠な支援であることを理解していますか	理解している	具体的な事例が頭に浮かぶ	家族を含めて他人に説明できる	自分の立場で適切に対処できる
周産期障害などで新生児がNICU (新生児集中治療室) で治療を受ける体制について理解していますか	理解している	具体的な事例が頭に浮かぶ	家族を含めて他人に説明できる	自分の立場で適切に対処できる
在胎週数や出生体重、新生児仮死など出生児の情報は、障害を理解する上で重要な事を理解していますか	理解している	具体的な事例が頭に浮かぶ	家族を含めて他人に説明できる	自分の立場で適切に対処できる
支援を行っていく上で現病歴や合併症の理解は、健康管理の必須項目であることを理解していますか	理解している	具体的な事例が頭に浮かぶ	家族を含めて他人に説明できる	自分の立場で適切に対処できる
医用的ケア実施には決められた研修を受ける事を知っていますか	理解している	具体的な事例が頭に浮かぶ	家族を含めて他人に説明できる	自分の立場で適切に対処できる

項目2. 発達と日常生活の質の保障

キーワード	具体的イメージ	1	2	3	4
1 現在受けている支援	現在受けている支援の内容や頻度と機関について	関係機関は把握している	頻度・支援内容について知っている	支援の全体像を把握している	現状の課題と次の計画について提案できる
2 本人の1日の生活がイメージできるか？	ご本人さんの生活で、起床から就寝(夜間睡眠時も含む)の時間帯における暮らしの姿・介護や生活上の困難さについて	介護がたいへんな部分のことであれば知っている。介護方法についてアドバイスできる	24時間の生活全体の中での困難さや介護について想定できる	生活上の困難さについて、課題を整理して支援計画の変更も含め家族に提案できる	生活上の困難さについて、課題を整理して支援計画の変更も含め家族に提案できる
3 重症児のライフステージがイメージできるか？次の課題(就学等)の見通しがついている	5年後、10年後、15年後の状態像、そこで生活上の困難さ、ライフイベントについてなどについて	状態像の変化とリスクについては知っている	状態像の変化に伴う、介護方法や必要になる介護機器などについて提案できる	次に起こるであろう困難さへの予防や準備を提案できる	次に起こるであろう困難さへの予防や準備について、家族や関係機関と調整・計画化できる
4 年齢なりの経験ができるよう配慮されている	ご本人さんの年齢にふさわしい経験と支援について	呼称について気をつけている	年齢にふさわしい経験やイベントへの参加について、提案することができる	年齢にふさわしい経験やイベントへの参加について、計画することができる	年齢にふさわしい経験やイベントへの参加について、他機関と調整することができる
5 重症児が可能な遊びを知っているか？	家庭においてちよっとした時間に親子で遊べるような遊びや快適な時間のつくりかたについて	安否の確保については知っている	一般的に喜ぶものは、いくつかは知っている	状態像にあわせて、いくつかの提案ができる	IT機器などを使った遊びなどについても提案できる
6 子ども・子育て支援(児童福祉法)の理念を含む	子ども子育て支援にかかると関係施設や制度について	児童福祉法など大まかな制度概要は理解している	市町の保育園の利用に際し、子ども子育て新支援システムなど制度を説明できる	市町の障害児保育体制について説明できる	医療的ケアと関わって、その体制整備について提案や協議することができる
7 児童発達支援(乳幼児期)	児童発達支援とかがわかって	児童福祉法や子ども・子育て支援新制度の概要について理解している	制度利用について説明ができる	市町の児童発達支援事業やセンタータウンの状況(定員・状況・スタッフ・リハビリ)スタッフの配置状況などを把握している	制度の利用にあたって、医療的ケアの対応について調整することができる。必要に応じて自立支援協議会などで地域の課題として提案できる
8 学校卒業以降の進路、日中活動先(学校卒業以降)	学校卒業後の進路先について	制度の説明ができる	市町の重傷事業所の状況について説明ができる	事業所ごとの医療的ケアに対応するスタッフの配置、送迎体制などについて把握している	制度の利用にあたって、医療的ケアの対応について調整することができる。必要に応じて自立支援協議会などで地域の課題として提案できる
9 特別支援学校等での様子(医療的ケアを含む)	特別支援学校等での様子(医療的ケアを含む)	家族から聞いてほしい知っている	学校の先生から聞いて知っている	ご本人さんの様子や対応について、学校との情報交換をしている	ご本人さんの様子や対応について、定期的に学校から情報を収集している
10 特別支援学校等への通学(医療的ケアを含む)	特別支援学校等への通学(医療的ケアを含む)	現在の通学状況について把握している(同時に、誰が、どうやって)	現在の通学状況についての困難さや課題について知っている	現在の通学状況についての困難さや課題について、整理をすることができる	現在の通学状況の課題整理を行い、自立支援協議会などでその改善案を提案できる
11 夏休みなどの放課後等デイサービス利用	夏休みなどの放課後等デイサービス利用	制度の説明ができる。(その時間の生活の様子を知っている)	市町の実施事業所の状況について説明ができる	事業所ごとの医療的ケアに対応するスタッフの配置、送迎体制などについて把握している	制度の利用にあたって、医療的ケアの対応について調整することができる。必要に応じて自立支援協議会などで地域の課題として提案できる

項目3. コミュニケーション

キーワード	具体的イメージ	1	2	3	4
1 本人のコミュニケーションの方法	具体的イメージ 発語があるか？ 発声によるか？ 他人と視線は合うか？ 目をそらすか？	コミュニケーションが可能だと思う	コミュニケーションの方法が頭に浮かぶ	コミュニケーションについて家族と話ができる	本人とコミュニケーションを試みることができる
2 不快の表現	笑うことがあるか？ 泣くことがあるか？ 不快表情があるか？	本人による不快の表現があると思う	本人の不快の表現が頭に浮かぶ	本人の不快の表現について家族と話ができる	本人の不快の表現をある程度理解できると思う
3 欲求の表現	空腹を何らかの方法で表現しているか？ 尿意・便意はどうか？ もつと遊びたいと意思表示するか？	本人による欲求の表現があると思う	本人による欲求の表現が頭に浮かぶ	本人による欲求の表現について家族と話せる	本人による欲求の表現をある程度理解できると思う
4 家族に伝わっているか	本人の意思表示を母親はわかっているか？ 他の家族はどうか？	母親はわかると思う	他の家族もわかると思う	母親とのコミュニケーションの内容がわかると思う	他の家族とのコミュニケーションの内容がわかると思う
5 家族以外の人に伝わっているか	コミュニケーションは家族以外とも可能か？ どんな人と可能か？ どの程度か？	家族以外にも伝わると思う	家族以外とのコミュニケーションの内容が漠然と頭に浮かぶ	家族以外とのコミュニケーションの内容が具体的に頭に浮かぶ	家族以外とのコミュニケーションの内容がわかると思う
6 発達年齢の把握	おおよその発達年齢の見当がつくか？ 遠城寺式発達検査を記載できるか？	発達年齢とは何かを知っている	本人の発達年齢がある程度わかると思う	本人の発達年齢について家族や関係者と話せる	本人の発達年齢がある程度わかると思う
7 対象児の好み	食べ物や人の好き嫌いを何らかの方法で表現しているか？	本人に食べ物や人の好き嫌いがああることを理解している	本人の食べ物や人の好き嫌いを感ずることができると思う	本人の食べ物や人の好き嫌いにについて家族と話せる	本人の食べ物や人の好き嫌いを知って支援に活かせる
8 家族の思い	家族の本人に対する強い思いがあるか？	家族の強い思いがあることを理解している	家族の思いの内容がわかると思う	家族の思いについて家族と話せる	家族の思いを支援に活かせる
9 意思伝達装置について知っているか？	どのような意思伝達装置があるか？ どのようなスイッチがあるか？ 公費補助について知っているか？	意思伝達装置があることを知っている	意思伝達装置について具体的に知っている	意思伝達装置の公的補助について知っている	意思伝達装置を用いた支援が可能
10 意思決定支援をどう行うか？	意思決定支援ガイドラインを読み、理解しているか？	ガイドラインについて聞いたことがある	ガイドラインについて知っている	ガイドラインについて関係者に説明できる	ガイドラインに基づいて支援できる

項目 4. 生活の見直し

キーワード	具体的イメージ	1	2	3	4
1 入院中から在宅生活への移行支援	入院中から在宅生活への移行支援において	病状や退院の見直しについて家族から聞いて知っている	退院後に必要なことを病院関係者と相談することができる	退院以前に支援チームを調整や連携の上、形成することができる	地域の医療や看護・療育教育機関とともに、入院時に支援会議を設定し共有化し退院後の生活に向けての準備や練習の調整ができる。また、状況に応じモニタリング会議も設定しながら、地域での生活を支援することができる。
2 終末期の支援	終末期の支援	病状や退院の見直しについて家族から聞いて知っている。有である	限られた時間の中で、本人がしたいことや衰弱したい願いができる。グリーフケアについて知っている。	限られた時間の中で、本人がしたいことや衰弱したい願いとともに関係機関や家族とともに親友化する場を持つことができて理解している。	一連の過程のなかでグリーフケアを踏まえた対応ができる
3 特別児童扶養手当・子ども医療費助成制度	(本人が子どもの場合) 特別児童扶養手当・子ども医療費助成制度	制度について一部は知っている	制度について、概要を知っている	手当や助成関連の制度について、説明ができる	申請手続きについて支援ができる
4 手帳制度と日常生活用具・住宅改造関連について	手帳制度と日常生活用具・住宅改造関連について	制度について一部は知っている	制度について、概要を知っている	手当や助成関連の制度について、説明ができる	申請手続きについて支援ができる
5 ライフステージごとで使える制度(学齢期: 教育援助費、20歳: 年金申請、特別障害者手当など)がわかる	ライフステージごとで使える制度(学齢期: 教育援助費、20歳: 年金申請、特別障害者手当など)がわかる	手当や手帳と減免、大人であれば年金などの制度、市町の支給券(タクシー、ガソリン、オムツなど)について、一部知っている。	手当や手帳と減免、大人であれば年金などの制度、市町の支給券(タクシー、ガソリン、オムツなど)について、概要を知っている。	手当や手帳と減免、大人であれば年金などの制度、市町の支給券(タクシー、ガソリン、オムツなど)について説明することができる。	手当や手帳と減免、大人であれば年金などの制度、市町の支給券(タクシー、ガソリン、オムツなど)について申請の支援をすることができる。
6 利用可能な地域の資源とのつなぎ	利用可能な地域の資源(インフォーマルな関係)	地域とのつなぎをすすめることのできる	社協や自治会、民生委員などと連携がとれる		
7 通所等に通えない場合の対応	通所等に通えない場合の対応	本人や家族の思いについて把握することができる	その要因と課題について(移動手段、医療的ケアの体制も含めた人員体制、本人の状態などを整理することができる)	その要因と課題について(移動手段、医療的ケアの体制も含めた人員体制、本人の状態などを整理することによって)	制度の利用にあたって、医療的ケアの対応について調整することができる。必要に応じて自立支援協議会などで地域の課題として提案できる
8 成年後見制度	成年後見制度について	制度について一部は知っている	制度について、概要を知っている	制度について、メリット・デメリットも含め説明ができる	申請手続きについて支援ができる

項目5. 家族のQOLの維持向上

キーワード	具体的イメージ	1	2	3	4
1 家族構成	家族構成について、 家族構成について、	家族の年齢や心身の状況、就労状況などについて把握している	祖父母の存在や、祖父母と家族・本人との関わり状況について把握している	きょうだいの状況（きょうだい甲の本人への思いや親への思い、学校での関係）について、把握できる	日常の関係性も含め、家族に関わる関係性と生活状態をシエノグラムのエコーマップを作成することができ、きょうだいの関わりが深い場合、児童相談所や協議会などと連携相談ができる。
2 父・母の家族の中での役割と協力者・相談相手	父・母の家族の中での役割と協力者・相談相手	父や母の苦勞や困難さについて話を聞くことができる	父や母の苦勞や困難さについて、整理をすることができる	父や母の子育てにおける協力者・相談相手について把握している	父や母の子育てにおける困難さなどについて、関係機関や行政と相談することができる
3 家事や介護を代わられる存在	家事や介護について	現在の家事や介護の状況や支援してくれる存在について、把握できる	現在の家事や介護の状況について、その困難さについて整理することができる	現在の家事や介護の状況について、その困難さへの支援について家族に提案できる	現在の家事や介護の状況について、その困難さへの支援について、必要に応じて関係機関との連携がとれる。また、インフォーマルな支援などをつくることができ
4 家族の経済状態の把握	家族の経済状況について	だいたい知っている	家計をさえているのは？誰がどういう仕事をして？何時から何時働いているか、などについて把握している	経済状況の困難さなどがある場合に、必要なことについて関係機関と連携し相談ができる	3と同じ
5 生活上の悩み（子育て・経済面以外）の把握	生活上の悩み（子育て・経済面以外）について	だいたい知っている	家族から聞いて知っている	生活上の困難さなどがある場合、必要なことについて関係機関と連携し相談ができる	3と同じ
6 親戚・ご近所の理解と支援の状況	親戚・ご近所の理解と支援の状況	手伝ってくれる親戚やご近所との関係について、だいたい知っている	手伝ってくれる親戚や近所との関係について、聞き取りできている	手伝ってくれる親戚や近所との関係について、希望や意向などについて把握できている	現在生活状況において、その困難さへの支援について、必要に応じて関係機関との連携がとれる。また、インフォーマルな支援などをつくることができ
7 生活環境の把握	生活している環境について	居住場所の状況について把握している	居住している地域での関係について、把握している	必要なことについて関係機関と連携し相談ができる	3と同じ

項目 6. 地域の医療福祉資源の把握と有効活用のための人的ネットワークの構築

キーワード	1	2	3	4
具体的イメージ	理解している	具体的な事例が頭に浮かぶ	家族を含めて他人に説明できる	自分の立場で適切に対処できる
関係者との連携	地域生活を支える為、関係支援者間の連携の必要性・重要性を理解していますか	具体的な事例が頭に浮かぶ	家族を含めて他人に説明できる	自分の立場で適切に対処できる
	ライフステージに応じて医療、福祉、行政、教育など関係部門が変わることを理解していますか	具体的な事例が頭に浮かぶ	家族を含めて他人に説明できる	自分の立場で適切に対処できる
	連携を取り、必要な支援や情報交換を行い課題を見つける為に連携会議の重要性を理解していますか	理解している	家族を含めて他人に説明できる	自分の立場で適切に対処できる
	その連携図・関係図を描けますか	理解している	家族を含めて他人に説明できる	自分の立場で適切に対処できる
	それぞれ関係機関の調整を担うキー組織・キーパーソンの必要性を理解していますか	具体的な事例が頭に浮かぶ	家族を含めて他人に説明できる	自分の立場で適切に対処できる

項目 7. 虐待への対応

キーワード	1	2	3	4
具体的イメージ	虐待について一般的なことを知っている	ネグレクトについて知っている	重症児者の虐待に気が付くと思う	重症児者の虐待に遭遇したら適切な支援ができると思う
1 重症児の虐待に通じているか？ ネグレクトとは？	虐待について一般的なことを知っている	ネグレクトについて知っている	重症児者の虐待に気が付くと思う	重症児者の虐待に遭遇したら適切な支援ができると思う
2 家庭の雰囲気	重症児者の家族の雰囲気を感じることができ、その家族の雰囲気を感じることができ、その家族の雰囲気を感じることができ、その家族の雰囲気を感じることができ	重症児者の家族の雰囲気を感じることができ	重症児者の家族の雰囲気について関係者と話せる	重症児者の家族の雰囲気をもとに支援ができる
3 母（父）は精神的に安定している	母親が安定しているかどうかを感じることもできるか？ 父親はどうか？	重症児者の母親の精神状態を感じることができ	重症児者の母親の精神状態について関係者と話せる	重症児者の母親の精神状態をもとに支援ができる
4 母（父）は本人に手を焼いていることがある	重症児者の世話が母親の手に余る状況が想像できる	重症児者の世話が母親の手に余る状況を感じることもできる	重症児者の世話について関係者と話せる	重症児者の世話が母親の手に余る状況をもとに支援できる
5 疲れ切っていないか	重症児者の母親が疲れ切っている状況を想像できる	重症児者の母親が疲れ切っている状況を感じることもできる	重症児者の母親が疲れ切っている状況を関係者と話せる	重症児者の母親が疲れ切っている状況をもとに支援できる
6 第三者から見て、愛情を感じるか	重症児者に対する母親の愛情を想像できる	重症児者に対する母親の愛情を感じることもできる	重症児者に対する母親の愛情を関係者と話せる	重症児者に対する母親の愛情をもとに支援できる
7 子どもの健康状態	重症児者の健康状態が想像できる	重症児者の健康状態を感じることもできる	重症児者の健康状態について関係者と話せる	重症児者の健康状態をもとに支援できる